

タンザニアの教育の現状と協力隊活動

18年度1次隊 タンザニア
理数科教師
鈴木 祐二
(北海道釧路東高等学校)

Tanzaniaについて



首都 **DODOMA**

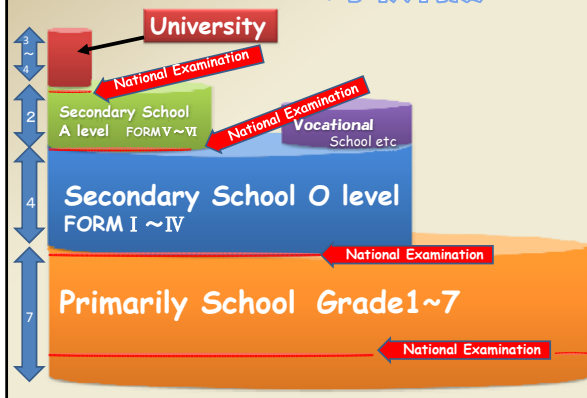
公用語 **Swahili 語**

産業 **観光
サイザル
鉱物 など**

宗教 **イスラム教
キリスト教
土着の宗教**

通貨 **Tanzania シリング(TSH) \$ 1 = 1200 TSH**

Tanzaniaの学校制度



学校概況

■ 配属先 **Tanga Technical Secondary School (TTS) A Level**
全寮制 政府校

クラス編成

PCM	PGM	PCB	CBG
・物理学 ・化学 ・数学	・物理学 ・地学 ・数学	・物理学 ・化学 ・生物学	・化学 ・生物学 ・地学
各クラス 全校生徒数 教員数	40~50名(増減あり) 600名程度(不確実) 40名前後(増減あり)		

生徒の生活



隊員活動

■ ①担当教科 **Biology (Form V、VI)**

学校からの要請(当初)は、理科(物理)の担当として現地生徒に授業を行うこと学校行事や校務運営の効率化

■ ②クラブ活動 **生物クラブ**

■ ③ワークショップ **教材開発 成績処理**

■ ④情報発信 **タンザニア通信の発行**



①担当教科

授業の風景

机・椅子はあります。



雑談はスワヒリ語
授業は英語

授業での問題点

- 教科書がない
- テキストはイギリス製
- 高価 (6000円)

- 窓ガラスがない
- 机・椅子が足りない
- 掃除ができない

教材

教室
環境

教具

生徒

- チョークがもろい
- 黒板消しがもろい
- 実験器具が...

- 出欠がはっきりしない
- 突然いなくなる
- いつの間にかいる

授業をひと工夫



模造紙・カラーチョークを活用

- 生物学で出てくる図表は模造紙へ
- タンザニアの先生も使えるように配慮



教材の工夫

- 単純な顕微鏡でも十分 (水滴・ガラスビーズ)
- 生物科教師への研修にも活用



PCの活用

- 動画・スライドの利用
- Wikipediaなどのデータベースは便利

実験の状況と改善



やってみた



顕微鏡の
修理と清掃



薬品の管理



実験室内 ガス水道の設備はありますが、機能していません。椅子も足りません。

私の仕事場 生物準備室

蚊が多くマラリアの恐怖。。。



実験準備室で実践

標本づくり

- ボロボロな標本ばかりでした

劇毒物管理

- ドラフトが薬品庫になった！

カラーチョーク

- わざと購入して置いておくことにした

②クラブ活動 **生物クラブの活動内容**

ゴキブリ・カエルの解剖

花の構造観察

顕微鏡観察

海洋実習と分類学実習

③ワークショップ

生物科教員との情報共有

- ・日本とタンザニアでの実験方法の比較検討。

生物科教員への指導

- ・ツルグレン装置の作成
- ・細胞分裂・気孔観察のための植物探索
- ・インターネットの活用方法
- ・顕微鏡のメンテナンス方法

教務担当教員へのExcel指導

- ・時間割作成への応用
- ・成績処理への応用

Tanzaniaの学校と日本の学校 比較

同じところ	違うところ
・制服 ・教科担任制 ・通知簿 ・校務分掌 ・特別指導 ・停学・退学等 ・頭髪・服装指導 ・学校行事	・体罰 ・鞭打ち 草刈り ・スクールデューティー（巡番） ・校長の存在 ・職員会議の雰囲気 ・教員の責任感

やってみた → 評価についての意識アンケート

任務以外のボランティア活動

小学校での理科実験授業の開催（LUSHOTO LONGOI小学校）

大地が練習場

ストローの笛で音の勉強

音の実験 顕微鏡の扱いと細胞観察 など

熱心に顕微鏡で観察

100名以上の教室

Safari（旅）へ 出発

隊員の楽しみの一つは旅
タンザニアは見所がたくさん！

任地のTangaは海が美しい

サファリカーで動物を探しに出発

National Park

チーターの親子

ライオンの親子

